



ZAWAMEKI
SUPPORT
CENTER



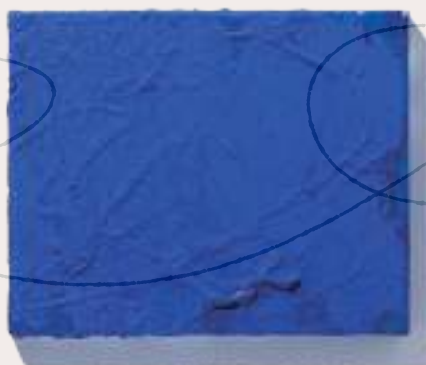
長野県にお住まいの

障がいのある方の 作品や表現活動を ご紹介ください!

ひそかに、黙々と、コツコツと時には堂々と表現した
作品や表現活動などを探しています!

ご紹介いただきたい作品や表現活動

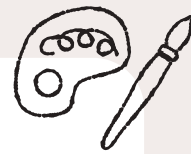
- 誰から教わったわけでもなく独自の創作を行っている
- 作品に強いこだわりが感じられる
- よくわからないが、何だかすごい
- ユニークでわらってしまうような不思議な魅力がある



作品情報の紹介方法

① 作品情報募集フォームもしくは、② ご紹介用紙に必要な事項を記入し、写真(詳細が分かる鮮明なもの)を1~2点添付しザワメキサポートセンターへお送りください。

自薦他薦は問いませんが、他薦の場合は必ず作者およびご家族の了承を得てください。なお、ご紹介していただいた場合、取材などの調査を行い当センター主催の作品展などへ出展をお願いする場合があります。



作品情報募集フォーム

<https://zawameki.info/artwork/>

郵送で

キリトリ

② ご紹介用紙

必要事項に記入、またはチェックを入れてください。* は必須項目です。

紹介者情報

紹介者名 *	会社名・所属団体名
メールアドレス *	電話番号 *
ご住所 * 〒	作者との関係 *

作者情報

作者名 *	年齢 *	性別 * 男性 ・ 女性 ・ その他
-------	------	-----------------------

作品情報

作品名 *	制作年 *	作品サイズ *
作者プロフィール *	創作状況レポート *	

確認リスト

作者名の公表について *	ペンネーム (いいえの場合)	作者の同意 *
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		<input type="checkbox"/> 作品出展にあたり作者の同意を得ている

作品写真

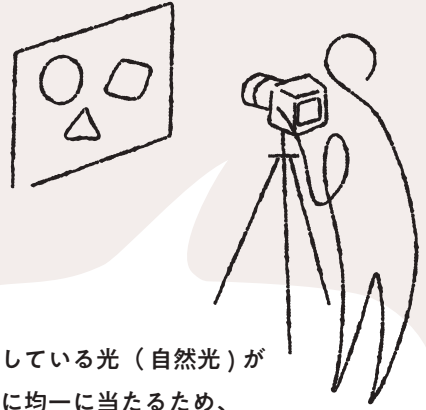
作品の写真は、詳細が分かる鮮明なものを1~2枚添付してください。写真の裏に、作者名と作品名をご記入ください。作品写真の撮り方については、別紙写真の撮り方チラシをご確認ください。



How to take a picture

作品写真の撮り方

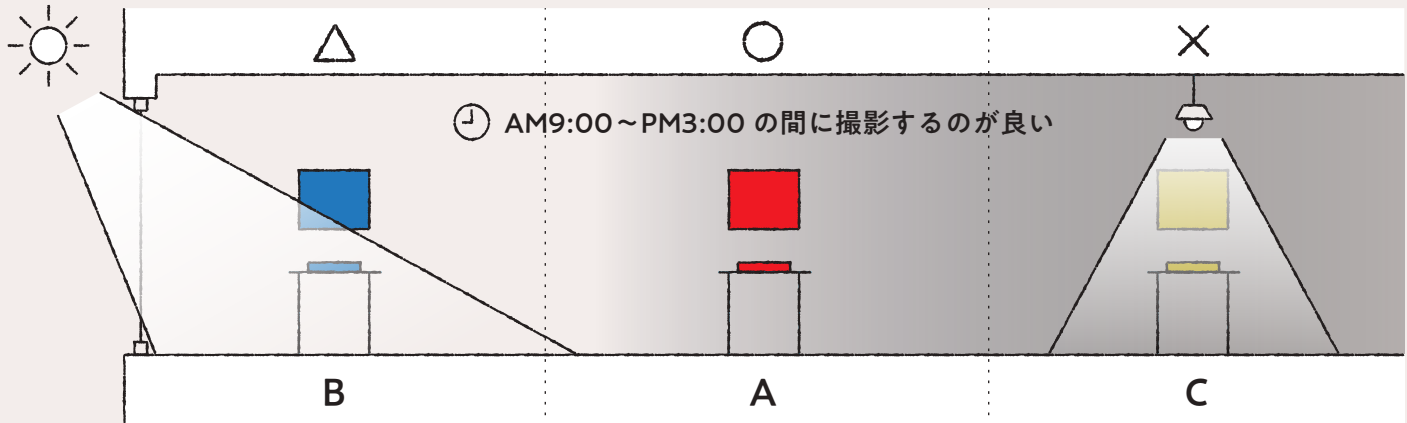
作品応募に際し写真撮影が必要となります。なるべく作品の魅力
をそのまま伝えられる写真の撮影方法を簡単にご紹介します。
参考にしていただければ幸いです。



拡散している光（自然光）が
作品に均一に当たるため、
簡単にきれいな写真が撮影しやすい。

1 場所と光

明るい場所で撮影が基本 !!



作品に直射日光が当たる場所は△

作品に直射日光が当たる場合は作品本来の色を撮影しにくいので、レースカーテンなどで光を遮るなど、直射日光を当てないように撮影しましょう。



作品に均一な自然光が当たる
明るい場所が○

窓のそばで十分に光が入るが直射日光が当たらない場所、電気を点けなくても十分に明るい場所を探して撮影しましょう。



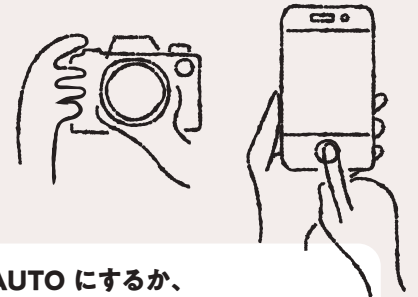
暗くて作品の色が判別しにくい
場所や白熱電球の下での撮影は×

電球の光の色が作品にかぶり、色が再現出来ないので注意が必要です。蛍光灯下も避けましょう。



2 カメラの使い方

デジタルカメラを前提としたカメラの使い方です。設定方法などはカメラの
取扱説明書をご覧ください。スマートフォンの場合は A の項目に注意してください。



A ストロボ（フラッシュ）や
スマートフォンのライトは使わない
1箇所だけ明るくなってしまうため使用しない。

C ホワイトバランスを AUTO にするか、
環境に合わせた設定にする
色かぶりをなくすため、環境に適した設定にしましょう。

B 日付が入らないように設定する

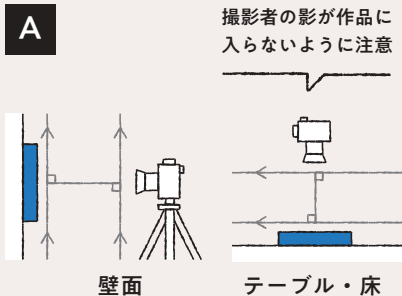
D AUTO 以外では A モード、P モードでの撮影が ○

3 構図と背景

平面作品の場合

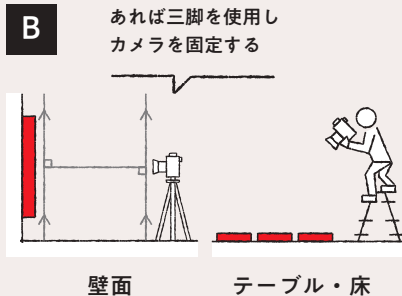


額に入った作品の場合はガラス板やアクリル板への光の反射や映り込みを避けるため、額から出して撮影をしてください。



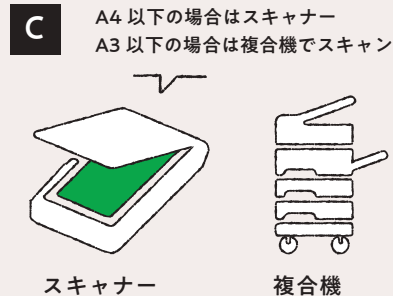
作品とカメラを水平にして撮影するのが○

壁の場合は真正面から、床やテーブルの上に作品がある場合は真上から撮影しましょう。



作品が画角に入らない時は離れて撮影する。

大きい作品・沢山ある作品などは脚立などを使い、作品から離れて画角に入るように撮影しましょう。



小さめの作品はスキャナーやコピー機でスキャン。

コピー機や複合機、スキャナーなどがある場合、使用している機器が対応しているサイズであればスキャンするのがオススメです。



背景に作品以外のモノがなるべく写り込まないように撮影しましょう。作品全体の様子が伝わるアングルを探して撮影しましょう。

立体作品の場合



作品全体にピントが合うように撮影する

作品の一部にしかピントがあっていない状態ではなく、全体にピントが合うように撮影しましょう。



作品の特徴にフォーカスして撮影

ここがおもしろい!ザワめく!という所にフォーカスして大きく撮影してアピールしましょう。



作品が複数ある時は、複数同時に撮影

作品が複数ある場合は、複数らを並べて撮影したもの、1点だけの写真の2枚で応募しましょう。

作品が1点の場合は **D** + **E** = 2枚

作品が複数の場合は **D** + **F** = 2枚

